

題材名 「魅力を伝えるパッケージ」

第3学年 「A表現」(1)イ(イ)、(2)ア(イ)、「B鑑賞」(1)ア(イ)、「共通事項」(1)アイ

◆本実践の概要

「山梨の名産品」から自身がそのよさを多くの人に知ってほしいと思うものを一つ選び、その名産品の魅力を伝えられるパッケージのデザインをする題材である。制作に入る前に、完成までアプローチには様々な方法と手順があることを生徒と共有する場面を設けた。それを受けて、生徒は自身の考えを基に制作の手順を考え、見通しをもって計画的に取り組もうとしていた。毎時間の終わりには、ポートフォリオ型のワークシートを活用し、自身の選んだ進め方について振り返りをさせた。

1 題材の目標

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

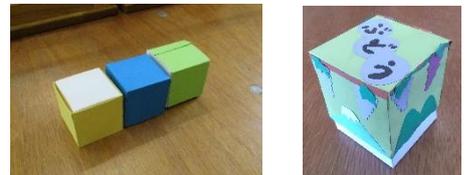
- ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージなどで捉えることを理解している。〔共通事項〕
- ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。〔A 表現〕(2))

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・伝える目的や条件、中身のイメージなどを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。〔A 表現〕(1))
- ・伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。〔B 鑑賞〕(1))

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとする。



2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。(知識)	発 伝える目的や条件、中身のイメージなどを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。(発想・構想)	態表 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝える目的や条件、中身のイメージなどからパッケージの構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫して見通しをもって創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 (主体的に表現の学習に取り組む態度)
技 意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。(技能)	鑑 伝達のデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。(鑑賞)	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にデザインの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 (主体的に鑑賞の学習に取り組む態度)

3 題材について

本題材では、「山梨の名産品」のパッケージデザインを考える。伝える目的や条件、中身のイメージなどから主題を生み出し、意図に応じて表現方法を選択し、創意工夫して表す活動に取り組むものである。

題材冒頭では、風呂敷やグッドデザイン賞を受賞した作品に触れることを通して、身の回りのデザインがもつ特徴や使いやすさを向上させるための工夫などに着目させる。次に自身が多くの人に伝えたいと思う「山梨の名産品」を一つ選び、その魅力を発信できるようなパッケージのデザインを考えさせる。伝える相手や内容のほか、地域や社会との関わりなども視野に入れて主題を生み出させたい。ここで考えたパッケージは、実際に画用紙で立体物として制作させる。完成後には、互いに作品を鑑賞させ、表現の意図や工夫について気付いたことを話し合わせる。

指導に当たっては、私たちの身の回りにはデザインされたものがたくさん存在していて、それらのデザインが私たちの生活を豊かにしているという美術の働きについても気付かせる機会としたい。



4 題材の計画（全6時間）

時間	学習内容	評価の観点					指導上の留意点
		知識	技能	発想 構想	鑑賞	態表 態鑑	
1	① ねらいや学習の流れを確認する。						<ul style="list-style-type: none"> 包むものの形状に合わせて包み方が工夫されていることに注目させる。 身の回りにあるデザインに着目させ、生活をよりよいものにしたいという思いが込められていることに気付かせる。
	② 風呂敷に注目し、その由来や包み方の特徴を理解する。	○			○		
2	③ 「グッドデザイン賞」を受賞した作品を鑑賞し、ものをデザインする上で重要となる考え方や工夫の仕方にふれる。						<ul style="list-style-type: none"> 地域や社会との関わりなども視野に入れて主題を生み出させる。 箱の見本を提示することや1人1台端末を使って情報収集をさせることで、構想を練りやすくする。
	④ 他者に魅力を発信したいと思う「山梨の名産品」を一つ選ぶ。						
3	⑤ 名産品やその特徴を効果的に伝えるに当たって、どのようなデザインが魅力的か検討する。		○	◎			<ul style="list-style-type: none"> 名産品の特徴を伝えるとともに、箱の形状を生かしたデザインになるように意識させる。
	⑥ 具体的に展開図に書き表し、切ったり貼ったりして作る。	◎	◎				
4	⑦ 箱を組み立てて完成させる。	◎ 観察対話作品WS	◎ 観察対話作品WS			◎ 観察対話作品WS	
5							
6	⑧ 振り返りカードや作品票を書き、つくったものについて紹介して見せ合い、互いの面白い点やよい点を伝え合う。				◎ 観察対話作品WS	<ul style="list-style-type: none"> 造形的な視点を用いてデザインを鑑賞できるように声掛けをする。 	

5 本時の授業（2時間目）

(1) 本時の目標 山梨の名産品がもつ魅力から主題を生み出し、よさを他者に伝えるためのパッケージのデザインを構想し、意図に応じて創意工夫して創造的に表す。

(2) 本時の展開

時	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5分	○パッケージデザインが果たす役割について理解する。 ○本題材、本時の目標を確認する。	・商品や中身の特徴を分かりやすく表すなどのパッケージデザインの働きに気付かせる。 ・本時の具体的な目標を黒板に掲示する。
	【本時の目標】 山梨の名産品の魅力を多くの人に伝えられる、素敵なパッケージのデザインを考えよう	
展開 40分	○他者に魅力を発信したいと思う「山梨の名産品」を一つ選ぶ。 ○自身の学習の進め方をイメージする。	・自身の経験を基に山梨県の特産物や食文化、伝統工芸などから自由に選ばせる。 ・学習の進め方には、様々なアプローチの仕方があることを全体で共有する。制作の詳しい手順は示さず、 生徒に学習の進め方を選択させる。
	例：①仲間に意見をもらってみる ②アイデアスケッチをしてみる（展開図・完成形） ③1人1台端末で調べてみる ④材料の質感を確かめに行ってみる ⑤試作品を早速つくってみる ⑥ブレインストーミングで考えを書き出してみる 等	
終末 5分	○パッケージの開け方にも様々なパターンがあることを理解し、自身の構想に生かす。	・小グループごとにパッケージの見本を置いておく。 ・実際に使われているパッケージデザインを紹介しながら、箱のそれぞれの面に必要な情報を取捨選択する必要性について考えさせる。 ・箱を開けたときを想定して、外箱と内箱の効果的な色の組み合わせについても紹介する。
	○WSに感想を記入・発表する。 ○本時の振り返りを行う。	・ ポートフォリオ型のワークシート に振り返りと今後の活動計画を記入させ、自身の学習の進め方を振り返るきっかけとする。

6 実践を終えて

制作の場面では、制作の順序や方法を生徒自身に選択させた。それぞれ違ったアプローチの仕方で自身の学習を計画的に進めようとする姿が見られた。美術室の性質上、互いに向き合う形で活動するため、自然と仲間の取組の様子を見ていた。自分のデザインしたパッケージが他者から見るとどのように感じられるのか、興味関心をもって取り組んでいた。

